

資料 自動翻訳システム概要

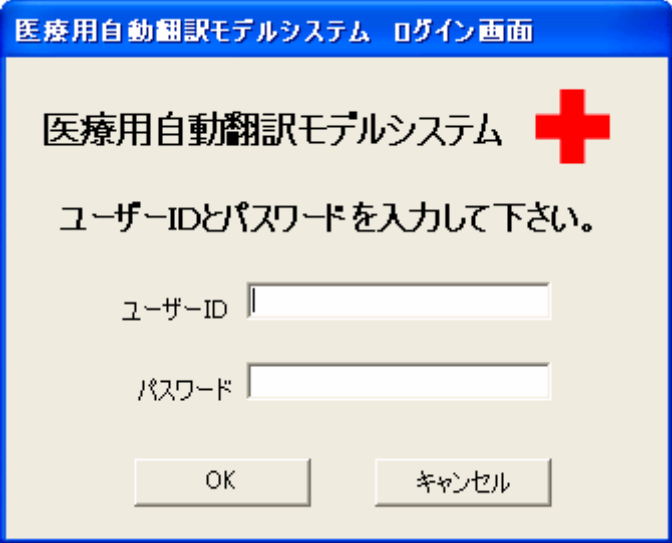
自動翻訳システム概要

1. システム環境


自動翻訳システムは、CPUは、Celeron1.0GHX以上、OSはMicrosoft Windows 98以上、メインメモリーは128.MB以上のパソコン上で動作する。

2. ログイン画面

自動翻訳システムを起動させると、最初にログイン画面が開く。ユーザーIDとパスワードを入力することにより、選択画面に進む。



医療用自動翻訳モデルシステム ログイン画面

医療用自動翻訳モデルシステム 

ユーザーIDとパスワードを入力して下さい。

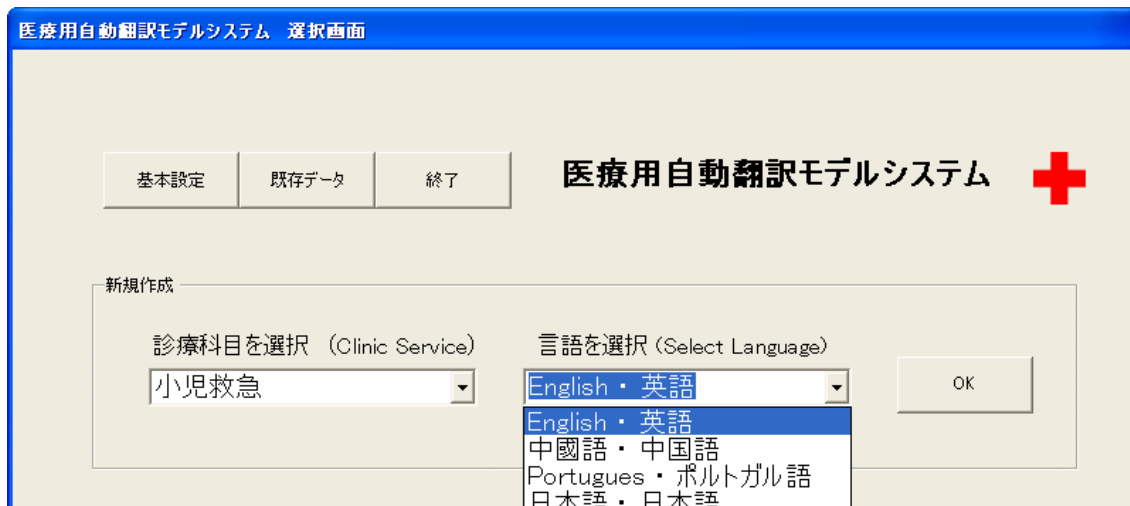
ユーザーID

パスワード

OK キャンセル

3. 選択画面

選択画面では、診療科目と翻訳言語の選択を行う。診療科目および翻訳言語はそれぞれプルダウンメニューにより選択し、診療画面の初期画面に進む。



また、この画面から既存データの検索画面や基本設定画面に進むことも可能である。

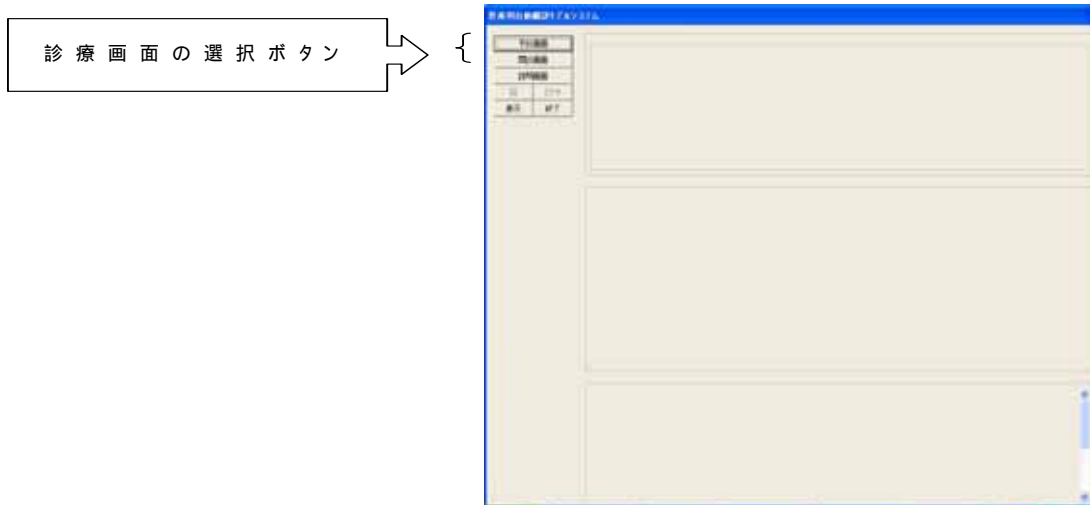
なお、システムを終了する場合は、この画面で終了を選択する。

4. 診療画面

4.1. 診療画面の選択

診療画面には、予診画面、問診画面および説明画面の3つの画面があるが、どの診療画面を使用するかを、初期画面上で、画面左側上部のボタンで選択する。

なお、使用途中に、この左上のボタンを選択し、他の診療画面に進むことも可能である。



資料 自動翻訳システム概要

予診画面、問診画面および説明画面を開くと、左下にそれぞれの画面の質問選択肢のメニューが表示される。

【予診画面】

【問診画面】

【説明画面】

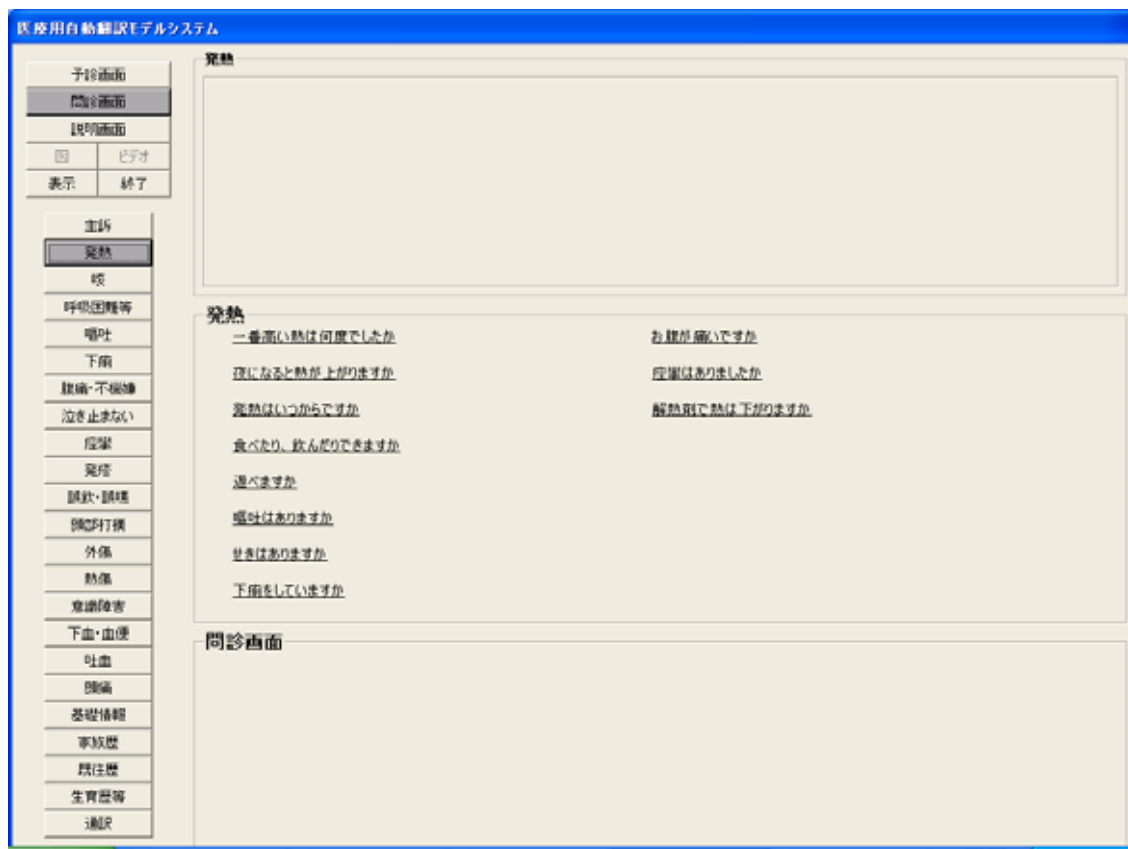


4.2. 診療画面の動作

各診療画面における画面構成および使用手順は同一である。問診画面を例に動作方法を説明する。

画面左下の選択肢群のメニューボタンをクリックすると、当該選択肢群の質問肢が画面右側の中段に日本語で表示される。

【「発熱」のメニューボタンをクリックした時の画面】



資料 自動翻訳システム概要

表示された質問肢の中から必要な質問をクリックすると、画面右側上部に選択された質問の翻訳文と日本語が赤字で、また、この質問に対する回答肢が翻訳文と日本語が黒字で表示される。更に、中段の質問も赤字表示に変わる。

資料 自動翻訳システム概要

回答肢を選択すると選択された回答肢は、網掛け表示される。これにより、医師と患者が回答を相互に確認することが可能となる。

また、同時に、画面右側下段には、選択された質問肢と回答肢が日本語で表示される。

資料 自動翻訳システム概要

次の質問は、画面右側中段の質問肢の中から選択することも、画面左側のメニューボタンを押し、異なる質問肢群の中の質問を選択することも可能である。

順じ質問と回答を選択していった場合、画面右側下段には、選択された質問と回答の履歴が日本語で表示される。表示方法は、新規に選択されたものが上側に表示されるため、常に前の質問と回答を参照することが可能である。質問、回答の数が増えた場合、下段の画面をスクロールすることによりすべての質問、回答の履歴を見ることが可能である。

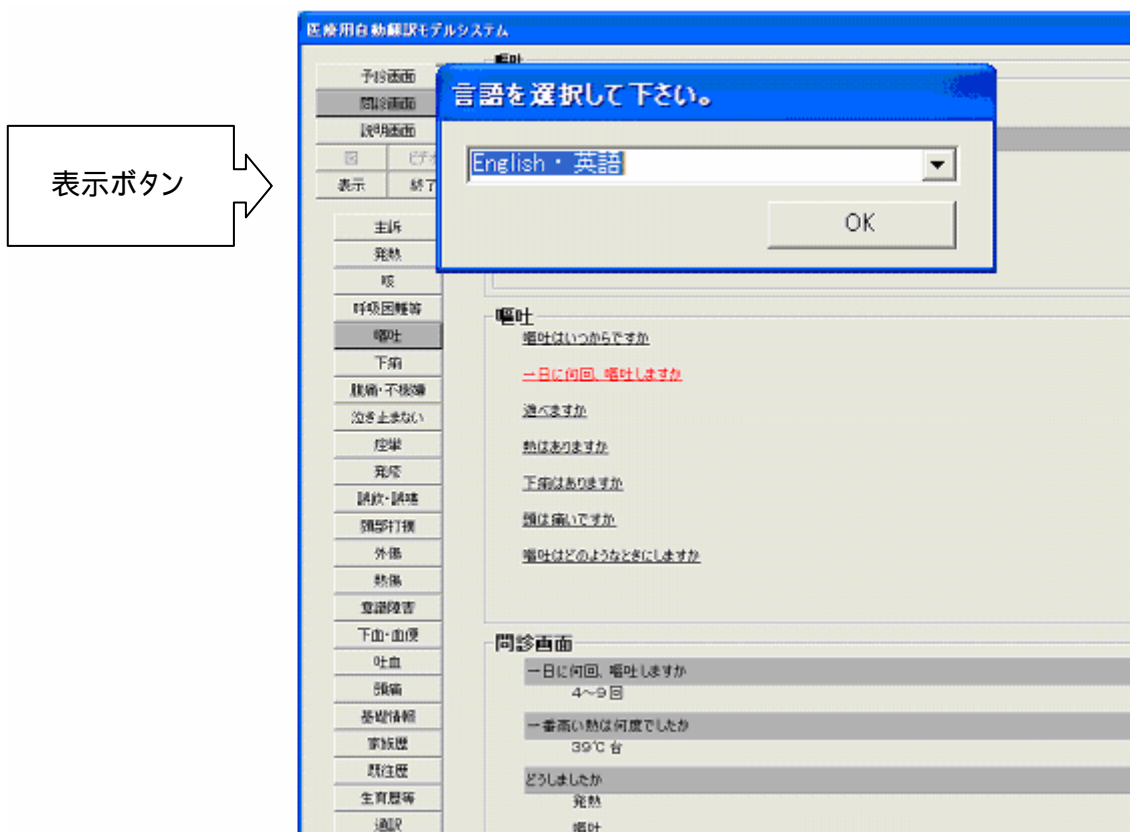
The screenshot displays a software interface titled "医療用自動翻訳システム" (Medical Automatic Translation System). On the left is a vertical menu with various medical symptoms and conditions, including "嘔吐" (Vomiting), "下痢" (Diarrhea), "腹痛・不機嫌" (Abdominal pain/Discomfort), "泣き止まない" (Crying/Not stopping), "痙攣" (Spasms), "発疹" (Rash), "誤飲・誤嚥" (Ingestion/Aspiration), "誤嚥打撲" (Aspiration/Blow), "外傷" (Trauma), "熱傷" (Burns), "意識障害" (Consciousness impairment), "下血・血便" (Lower GI bleeding/Blood in stool), "吐血" (Hemoptysis), "閉塞" (Obstruction), "基礎情報" (Basic information), "事故歴" (Accident history), "既往歴" (Past medical history), "生育歴等" (Developmental history, etc.), and "通訳" (Interpretation). The main area is divided into sections: "嘔吐" (Vomiting) with a question "How many episodes of vomiting were noted in a day? / 一日に何回、嘔吐しますか" and three radio button options: "1-3 times / 1~3回", "4-9 times / 4~9回" (selected), and "more 10 times / 10回以上". Below this is another "嘔吐" section with several sub-questions: "嘔吐はいつからですか", "嘔吐はいつからですか", "一日に何回、嘔吐しますか", "進むますか", "熱はありますか", "下痢はありますか", "嘔吐は痛いですか", and "嘔吐はどのようなときにしますか". At the bottom is a "問診画面" (Questionnaire screen) showing a history of questions and answers in Japanese: "一日に何回、嘔吐しますか" (4~9回), "一番高い熱は何度でしたか" (39℃台), and "どうしましたか" (発熱, 嘔吐).

5. 表示

5.1. 言語選択

画面左側上部の「表示」ボタンをクリックし、表示する翻訳言語を選択すると、これまでに選択された質問および回答の日本語と翻訳文が一覧表示される。

翻訳言語の選択は別ウィンドウのプルダウンメニューの中から行う。診療画面で使用した翻訳言語がデフォルトされているが、英語の翻訳で診療を行い、他の言語(中国語やポルトガル語)でその内容を表示させることも可能である。



5.2. 表示方法

表示項目は、予診画面、問診画面、説明画面毎にまとめられ、それぞれの画面で選択された時間の順に並べられている。

The screenshot displays a software window titled '医療用自動翻訳モデルシステム 表示画面' (Medical Automatic Translation Model System Display Screen). The main content area is titled 'メインレポート' (Main Report) and is divided into three sections: '予診画面' (Pre-consultation screen), '問診画面' (Consultation screen), and '説明画面' (Explanation screen). The '予診画面' section contains fields for: '患者の氏名 / Name of patient' (with sub-fields for '名 / First name' and '姓 / Last name'), '年齢 / Age' (with sub-fields for 'ヶ月 / month' and '歳 / year'), '性別 / Sex' (with '男 / Male' selected), '身長 / Height' (cm / cm, value 65), '体重 / Weight' (kg / kg, value 8), and '国籍 / Nationality' (japan). The '問診画面' section contains: 'どうしましたか / What is the reason for consultation?' (with '嘔吐 / unusual discharge' selected), '発熱 / fever', and '一番高い熱は何度でしたか / Highest temperature recorded' (39°C台 / 39°C level). The '説明画面' section is currently empty. The status bar at the bottom shows '現在のページ番号: 1', '合計ページ数: 1', and 'ズーム率: 100%'.

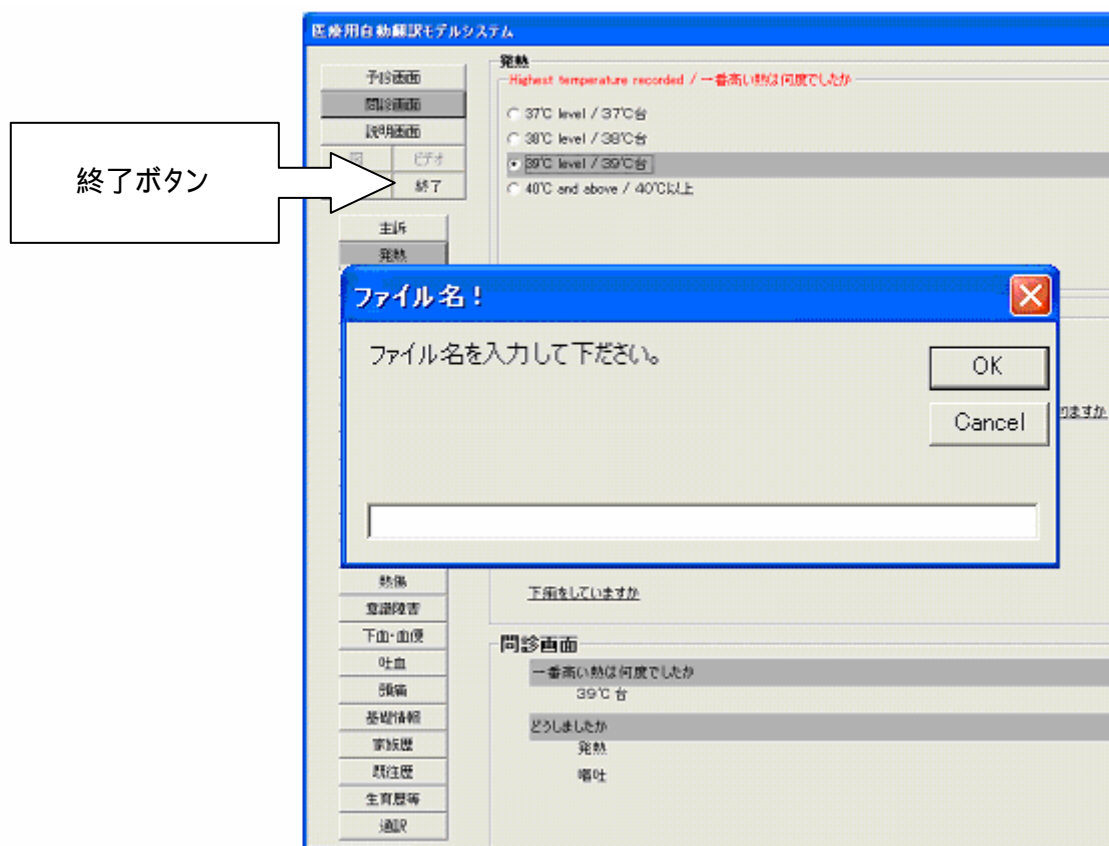
5.3. 印刷・エクスポート

表示画面の内容は、この画面から印刷することができる。

また、Word、Excel、PDF 等各主形式のデータにエクスポートし、テキストデータとして保存することも可能である。

6. 終了、保存

終了する場合、診療画面左側上部の「終了」ボタンをクリックする。利用データは、常にシステム内に保存されるが、その保存データのファイル名を指定できる。ファイル名を入力することなく終了することも可能である。



終了すると診療画面は閉じられ、3. の選択画面に戻る。

自動翻訳システムのプログラムを終了する場合には、選択画面上部の「終了」ボタンをクリックする。

8. ユーザーID、パスワードの設定、削除、変更

選択画面の上部にある「基本設定」ボタンをクリックすると基本設定画面に進む。

基本設定画面では、ユーザーID、パスワードの設定、削除、変更が可能である。

なお、ユーザーには管理クラスユーザーと一般ユーザーの2つのクラスがあり、この基本設定画面の操作は管理クラスユーザーだけが可能である。

The screenshot shows a web application window titled "医療用自動翻訳モデルシステム 基本設定画面". The main heading is "医療用自動翻訳モデルシステム" with a red cross icon. Below it is the subtitle "ユーザ ID およびパスワードの設定、削除、変更".

The interface contains three user management sections:

- Left Section:** Fields for "ユーザーID" and "パスワード", a checkbox, and a "追加をする" button.
- Right Section:** A dropdown menu for "ユーザーID", a "パスワード" field, a checkbox, and a "ユーザを変更する" button.
- Bottom Section:** A dropdown menu for "ユーザーID" and a "削除する" button.

A "メイン画面に戻る" button is located at the bottom right of the form area.

以 上